

試験開始の合図があるまで、問題冊子さつしを開かないでください。

# 令和4年度 第6回しらかわ検定けんてい

## 2級 問題冊子

(問題数50問 試験時間50分)

### 注意事項じこう

- 1 試験中は受験票、筆記用具、時計（通信機能きのうのないもの）以外は全てかばん等にしまってください。
- 2 携帯電話けいたいはマナーモードにするか、電源でんげんをお切りください。
- 3 問題冊子は、20ページあります。印刷が不鮮明ふせんめいであったり、ページが不足していたりする場合や、解答用紙かいとうの汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて係員にお知らせください。ただし、問題に関する質問しつもんにはお答えできません。
- 4 解答は、解答用紙の1から4の数字のうち、正答と思われる番号一つに丸を付けてください。

例えば【第1問】に対して「1」と解答する場合は、次の（例）のように解答用紙に丸を付けてください。

（例）

第1問	①	2	3	4
-----	---	---	---	---

- 5 解答用紙に正しく丸が付けられていない場合や二つ以上に丸が付いている場合は、不正解とします。
- 6 不正行為こういを行った場合は、その時点で受験を取りやめ退室たいしつしていただきます。
- 7 不明な点がある場合や、体調不良やトイレでやむを得ず席を立つ場合は、手を挙げて係員にお知らせください。



【第1問】

しらさか  
白坂で発見された白河の最も古い遺跡からは、何が出土しましたか。

- ① 土器  
② 石器  
③ 埴輪  
④ 銅製の鏡

【第2問】

じょうもん  
縄文時代の白河に関して、正しいものはどれですか。

- ① 集落跡の遺跡は、おもに山間部に分布している  
② 町屋遺跡では、白河産の硬玉製大珠（翡翠）が出土した  
③ 地域間の交流は盛んではなかったと考えられている  
④ 南堀切遺跡では、規模の大きな竪穴住居跡が確認された

【第3問】

やよいじだい  
弥生時代の白河に関して、間違っているのはどれですか。

- ① 天王山遺跡は、表郷番沢に所在する弥生時代前期の遺跡である  
② 人面付弥生土器は、骨壺として用いられたと考えられている  
③ 藤田定市氏は高校の歴史教師のかたわら、遺跡発掘調査に携わった  
④ 天王山遺跡から出土した土器群は「天王山式土器」と命名された

【第4問】

古墳時代の白河について、下の文章の（ ）内に当てはまるものはどれですか。

古墳時代中期の豪族居館跡と考えられる三森遺跡は、東日本最大の祭祀遺跡とされる（ ）と近接しており、相互の関連性が想定される。

- ① 建錡山
- ② 権太倉山
- ③ 関山
- ④ 天狗山

【第5問】

下総塚古墳について、正しいものはどれですか。

- ① 東地域に所在し、6世紀後半に築造された
- ② 国指定の史跡ではないが、白河市指定の史跡である
- ③ 全長17mの前方後円墳である
- ④ 白河国造の墓であると考えられている

【第6問】

谷地久保古墳と野地久保古墳は、どこに所在していますか。

- ① 舟田地区
- ② 本沼地区
- ③ 白坂地区
- ④ 旗宿地区

【第7問】

なら へいあんじだい  
奈良・平安時代の白河について、正しいものはどれですか。

- ①古代白河郡の範囲は、現在の白河市・西白河郡の範囲と同じである
- ②陸奥国白河郡の役所（郡衙）が五箇地区に建てられた
- ③古代白河郡の寺院は、旗宿に建てられた
- ④白河関には砦がつくられていたと想定されている

【第8問】

白河の遺跡について、下の文章の( )内に当てはまるものはどれですか。

( )は、大和政権により任命された「白河国造」に関わる  
遺跡と位置付けられている。

- ①一里段A遺跡
- ②関和久官衙遺跡
- ③下黒川遺跡
- ④舟田中道遺跡

【第9問】

しらかわゆうきけ  
白河結城家について、まちが間違っているものはどれですか。

- ① <sup>すけひろ</sup>結城祐広は、<sup>なんぼくちょうじだい</sup>南北朝時代に<sup>しほく</sup>北朝側についた
- ② <sup>おやまさみつ</sup>小山政光は、<sup>しらかわゆうきけ</sup>白河結城家の先祖に位置付けられている
- ③ <sup>ちかとも</sup>結城親朝は、分家として<sup>こみねけ</sup>小峰家を<sup>そうせつ</sup>創設した
- ④ <sup>よしちか</sup>結城義親は、<sup>りょうしゅ</sup>領主としての白河結城家時代の最後の当主となった

【第10問】

しらかわゆうきけ  
白河結城家について、下の文章の( )内に当てはまるものはどれですか。

<sup>なんぼくちょうじだい</sup>南北朝時代に( )は<sup>ごだいごてんのう</sup>南朝(後醍醐天皇)側につき、<sup>がわ</sup>全国を転戦し<sup>こうせき</sup>功績を挙げた。( )の<sup>かつやく</sup>活躍により、<sup>しらかわゆうきけ</sup>白河結城家は<sup>いちじる</sup>著しく力を<sup>ま</sup>増し、またその<sup>ぶゆう</sup>武勇は後醍醐天皇から大きな<sup>しょうさん</sup>賞賛<sup>え</sup>を得た。

- ① <sup>ゆうきちかみつ</sup>結城親光
- ② <sup>むねひろ</sup>結城宗広
- ③ <sup>まさとも</sup>結城政朝
- ④ <sup>みつとも</sup>結城満朝

【第11問】

中世の白河について、まちが間違っているものはどれですか。

- ①古代白河郡は、中世に石川<sup>いしかわのしょう</sup>荘・高野郡<sup>たかのぐん</sup>・白河<sup>しらかわのしょう</sup>荘に分かれた
- ②結城宗広<sup>ゆうきむねひろ</sup>は、白河荘以外に出羽国<sup>でわのくに</sup>（秋田<sup>あきた</sup>・山形<sup>やまがたけん</sup>県）や駿河国<sup>するがのくに</sup>（静岡<sup>しずおかけん</sup>県）など各地に領地<sup>りょうち</sup>を持っていた
- ③『白河結城家文書』<sup>しらかわゆうきけもんじょ</sup>は、現在は国指定重要文化財<sup>ぶんかざい</sup>となっている
- ④白河結城家は、白河荘ができた当初から荘全体を治めていた

【第12問】

中世白河の城館跡<sup>じょうかんあと</sup>について、正しいものはどれですか。

- ①富沢館跡<sup>とみざわてあと</sup>から約300mのところに竜害館跡<sup>りゅうがいたてあと</sup>が築かれた<sup>きず</sup>
- ②白川城跡<sup>しらかわじょうあと</sup>は、小峰家<sup>こみねけ</sup>の本城<sup>ほんじょう</sup>として築かれたと考<sup>きず</sup>えられている
- ③天王館跡<sup>てんのうだてあと</sup>は、東地域<sup>ひがしちいき</sup>の矢武川<sup>やぶがわ</sup>の独立丘陵<sup>どくりつきゅうりょう</sup>に築かれた
- ④新地山館跡<sup>しんちやまたてあと</sup>は、白河本城防備<sup>ぼうび</sup>の拠点<sup>きよてん</sup>として築かれたとみられる

【第13問】

白河結城家の氏神<sup>うじがみ</sup>として重視<sup>じゅうし</sup>された神社はどこですか。

- ①南湖神社<sup>なんこじんじゃ</sup>      ②天神神社<sup>てんじんじんじゃ</sup>      ③鹿嶋神社<sup>かしまじんじゃ</sup>      ④愛宕神社<sup>あたごじんじゃ</sup>

【第14問】

中世白河の寺院について、下の文章の（ ）内に当てはまる寺院名は何ですか。

道場町にある（ ）は時宗の寺院で、一遍上人の開山と伝えられている。白河結城家や時宗総本山と深い関わりを持っていたと考えられ、『白河風土記』には「格別の由緒」があると記されている。

- ①大統寺      ②小峰寺      ③関川寺      ④最勝寺

【第15問】

中世白河に関することについて、正しいものはどれですか。

- ①白川城前で白河結城家一族や家臣が参集する連歌の会が催された
- ②浮屠碑には、雲に乗った阿弥陀如来1体が線刻されている
- ③結城宗広・親光の忠烈を人々に伝えるため、後の時代に感忠銘の文字が刻まれた
- ④連歌師・宗祇は、白河を訪れた際にひとつも歌を詠まなかった

【第16問】

奥羽仕置により、白河結城家からすべての領地を没収したのは誰ですか。

- ①伊達政宗      ②徳川家康      ③佐竹義重      ④豊臣秀吉



【第17問】

しらかわゆうきげ  
白河結城家時代の主な出来事について、まちが間違っているものはどれですか。

- ① 鎌倉時代：結城朝広が次男・祐広とともに白河庄へ移住した  
かまくらじだい ゆうきともひろ すけひろ しらかわのしょう いじゅう
- ② 南北朝時代：結城親朝が小峰城を築いた  
なんぼくちょうじだい ちかとも こみねじょう きず
- ③ 室町時代：結城氏朝が越後の蒲原津を与えられた  
むろまちじだい うじとも えちご かんばらのつ
- ④ 戦国時代：結城・蘆名・佐竹の連合軍が豊臣秀吉と対戦した(郡山対陣)  
せんごくじだい ゆうき あしな さたけ とよとみひでよし こおりやまたいじん

【第18問】

江戸時代の白河と白河藩について、正しいものはどれですか。

- ① 丹羽光重は、初代白河藩主として棚倉より入封した  
にわみつしげ たなぐら にゅうほう
- ② 最後に白河藩主を務めた大名家は、松平(久松)家である  
つと まつだいら ひさまつ け
- ③ 6家13代の大名が白河藩主を務めた
- ④ 白河藩成立以前の白河は、約40年のあいだ会津領主の支配下にあった  
あいづりょうしゅ しはいか

【第19問】

えどじだい しらかわはん  
江戸時代、白河藩が関係する三方領知(地)替は全部で何回ありましたか。

- ① 1回                      ② 3回                      ③ 7回                      ④ 11回

【第20問】

しらかわはん りょうちへんせん  
白河藩の領地変遷について、下の文章の（ ）内に当てはまるものは  
どれですか。

かんぼうがねん てんぽう  
寛保元年（1741）の転封により、それまでの白河藩領の約半分が  
（ ）領となり、新たに離れた場所に領地が与えられた。

- えちごたかだはん      むらかみはん      くわなはん      ひめじはん  
①越後高田藩      ②村上藩      ③桑名藩      ④姫路藩

【第21問】

こみねじょう      しらかわじょうおやぐらえず  
小峰城にある37の建物を図面にした「白河城御櫓絵図」が作られた時代  
の白河藩主は誰ですか。

- にわながしげ      ほんだただよし      まつだいらさだのぶ      あべまさと(う)  
①丹羽長重      ②本多忠義      ③松平定信      ④阿部正外

【第22問】

こみねじょう いしがき  
小峰城の石垣について、正しいものはどれですか。

- いなりやま ゆうげつざん  
①石垣に使用した石材は、稲荷山や友月山から切り出された
- おびくるわ  
②帯曲輪西面には、約180mの長さの石垣が残っている
- さんじゅうやぐら  
③三重櫓北面の石垣の一部には、不整形の石が残っている
- いしく いしかわけ      ばくまつ      はんしゅ      しゅうふく たんとう  
④石工の石川家は、幕末まで代々藩主に仕え、石垣修復を担当した

【第23問】

こみねじょう  
小峰城について、下の文章の（ ）内に当てはまるものはどれですか。

めいじ                      めいじてんのう      おうしゅうごじゅんこう                      あと      ほんまる  
明治9年(1876)、明治天皇の奥州御巡幸の折には、小峰城跡の本丸  
で（ ）が行われた。

- ①だるま市      ②天覧産馬      ③皆既日食観測      ④バラ園観賞会

【第24問】

おうしゅうかいどう  
奥州街道の宿場について、まちが間違っているものはどれですか。

- ①しらさかしゆく      とよとみひでよし  
白坂宿は豊臣秀吉の命令で作られたとされている
- ②こみねじょうか      なかまち                      なら  
小峰城下の中町には宿屋が多く立ち並んでいた
- ③すけごう                      おもてごう      ひがしちいき                      ふく  
白坂宿の助郷には、表郷・東地域の村々も含まれていた
- ④のうはんき                      おうえん      ことわ  
助郷となった村は、農繁期でも応援を断ることができなかった

【第25問】

えどじだい                      えちごたか      だはん                      しはい                      あさかわ      じんや  
江戸時代に、越後高田藩の飛び地を管理・支配するために浅川に陣屋が置か  
れましたが、<sup>のち</sup>後に陣屋はどこへ移転しましたか。

- ①かまのこ                      ②かみこや                      ③かねやま                      ④いしかわ  
①釜子                      ②上小屋                      ③金山                      ④石川

【第26問】

白河の町・村における旧暦の年中行事について、正しいものはどれですか。

- ① 城下の町では、正月にはすべての町が松の内に南湖神社へ参詣する
- ② 3月15日は「梅若忌」といって、城下町では番場踊りを踊る
- ③ 8月朔日には、八溝山に残っている氷を城下で売り歩く
- ④ 町で伊勢参りをするときには一町内で祝い、白河関跡まで見送る

【第27問】

まつだいらさだのぶ松平定信について、下の文章の( )内に当てはまるものはどれですか。

定信は、白河藩主就任時に起きていた( )の飢饉に的確に対処したことが幕府に評価され、老中の首座に就任した。

- ① 天明
- ② 享保
- ③ 寛永
- ④ 天保

【第28問】

まつだいらさだのぶ松平定信が設立した藩校・立教館について、正しいものはどれですか。

- ① 中町にあった学問所を拡張し設立した
- ② 商人や町役人などの子息全員に入学を命じた
- ③ 定信が自ら講義を行うことはなかった
- ④ 文化6年(1809)の大火で焼失したが、再建された

【第29問】

まつだいらさだのぶ しらかわはん しよくさんこうぎょう まちが  
松平定信による白河藩の殖産興業について、間違っているものはどれ  
ですか。

- ① しらかわはんよう しらかわやき せいさく  
白河藩窯で藩の特産品として「白河焼」を制作させた
- ② ひめじ どうこう てがらやままさしげ め かか  
姫路の刀工・手柄山正繁を召し抱え、作刀させた
- ③ か きゅうはんし せいぞう ぎじゅつ  
下級藩士の子にガラス製造の技術を学ばせた
- ④ ねんぐまち さくらまち せりごま りょうない しょうれい  
年貢町と桜町で迫駒を行い、領内の馬産を奨励した

【第30問】

まつだいらさだのぶ しらかわはん ふっこう  
松平定信による白河藩の農村復興について、下の文章の ( A ) および  
( B ) 内に当てはまるものはどれですか。

定信は、しらかわはん 飛び地であるえちご にいがたけん から ( A ) を移住さ  
せてこんいん 結婚させるなど、けっこんしょうれい せいさく を進めるとともに、かんせい  
790) から ( B ) のしきゅう 支給を正式に始めた。

- ① A : 男性 B : 困窮者への米 ② A : 女性 B : 困窮者への米
- ③ A : 男性 B : 赤子養育の資金 ④ A : 女性 B : 赤子養育の資金

【第31問】

まつだいらさだのぶ  
松平定信が行った白河の歴史の検証について、下の文章の( )内に当てはまるものはどれですか。

定信は、中世に活躍した白河結城家関連の記録を中心に、白河郡内に関する古代からの沿革や旧記、神社仏閣の由緒などが記された『( )』という歴史書を編さんした。

- ① 白河古事考  
② 白河風土記  
③ 白河証古文書  
④ 白河藩

【第32問】

まつだいらさだのぶ  
松平定信が行った白河関の場所の考証について、正しいものはどれですか。

- ① 考証をもとに、白河関が白坂にあったと断定した  
② 古関蹟碑を白河関跡に建立したが、現存していない  
③ 絵図や記録、地形、古老の話などをもとに場所の考証を行った  
④ 古関蹟碑の裏面に、「古関蹟」の三字を刻んだ

【第33問】

まつだいらさだのぶ <sup>へん</sup>松平定信が編さんした『<sup>しゅうこじしゅ</sup>集古十種』について、<sup>まちが</sup>間違っているものはどれですか。

- ① 1, 800点以上の古物こぶつが収録しゅうろくされ、85冊さつにまとめられている
- ② 古物の模写もしやには谷文晁たにぶんちよう、画僧白雲がそうはくうん、大野文泉おおのぶんせんらが携たずさわった
- ③ 白河ゆかりに縁のある重要な古物のみを模写してまとめた図録である
- ④ 白河の最勝寺さいしょうじに伝来した中世の銅鐘どうしょうについても収録されている

【第34問】

まつだいらさだのぶ <sup>ていえん</sup>松平定信による庭園の築造ちくぞうについて、下の文章の( A )および( B )内に当てはまるものはどれですか。

定信が白河で最初に築造した庭園は( A )であり、( A )には( B )

の景勝地けいしょうちが定められた。

- ① A : 南湖なんこ B : 1 7
- ② A : 三郭四園さんかくしえん B : 3 2
- ③ A : 南湖 B : 1 6
- ④ A : 三郭四園 B : 2 4

【第35問】

なんこ ちくぞう  
南湖の築造について、正しいものはどれですか。

- ①南湖築造以前に大沼が開拓されたことはなかった
- ②南湖築造に伴い開発された学田新田の収益は、全て藩校・立教館の経営に充てられた
- ③大庄屋・藤田孫十郎が大沼の新田開発計画を立て、藩に願い出たが実現しなかった
- ④南湖築造と同年に「南湖開さく碑」が建立された

【第36問】

ほしんせんそうしらかわぐち たたか  
戊辰戦争白河口の戦いについて、下の文章の ( A ) および ( B ) 内に当てはまるものはどれですか。

けいおう  
慶応4年(1868)5月1日、新政府軍は白坂より ( A ) に分かれて

こみねじょうか  
小峰城下に進軍し、正午過ぎに小峰城を占拠した。その後、5月26日には、

おううえつれっばんどうめいぐん  
奥羽越列藩同盟軍により白河奪還攻撃が仕掛けられ、小峰城へ向けて

( B ) から攻撃が行われた。

- ①A：三方 B：四方                      ②A：四方 B：四方
- ③A：四方 B：八方                      ④A：三方 B：八方



【第37問】

ぼしんせんそうしらかわぐち たたか まつなみ しょうこんひ はん  
戊辰戦争白河口の戦いに関して、松並にある銷魂碑はどこ藩の

せんししゃ とむら  
戦死者を吊ったものですか。

- ① あいづはん 会津藩      ② さつまはん 薩摩藩      ③ せんだいはん 仙台藩      ④ ちょうしゅうはん 長州藩

【第38問】

まつおばしょうたびじ  
松尾芭蕉の旅路について、正しいものはどれですか。

- ① こみねじょうか おとず さい もとまち いっぱく  
小峰城下を訪れた際に本町で一泊した
- ② とちゅう せきさん まんがんじ さんけい  
小峰城下へ向かう途中、関山・満願寺に参詣した
- ③ なかまち さがらとうきゅう あ すかがわ しょかん  
中町の相良等躬に宛てて須賀川から書簡を送った
- ④ はいじん かうん たず たいざい  
知人の俳人・何云を訪ね、須賀川に約一週間滞在した

【第39問】

まつおばしょう ひ まちが  
白河にある松尾芭蕉関連の碑について、間違っているものはどれですか。

- ① あさひまち くひ きざ  
旭町の句碑に「西か東か先早苗にも風の音」の句が刻まれている
- ② さかい みょうじん  
境の明神の句碑に「風流のはじめや奥の田うへ唄」の句が刻まれている
- ③ れんぼうじ  
聯芳寺の句碑に「関守の宿を水鶏にとはふもの」の句が刻まれている
- ④ しらかわのせきあと  
白河関跡の碑に『おくのほそ道』白河関部分の全文が刻まれている

【第40問】

近世に活躍した文化人について、正しいものはどれですか。

- ① 谷文晁は、星野文良の門人である
- ② 絵師・蒲生羅漢は、羅漢山の裾野に居を構えて活動した
- ③ 加藤千浪は、俳諧の分野で活躍した
- ④ 中島山麗は、白河藩主・本多家の家臣であった

【第41問】

亜欧堂田善が、白河藩主・松平定信の命により研究したものは何ですか。

- ① 水墨画      ② 銅版画      ③ 彫刻      ④ 油彩画

【第42問】

廃藩置県について、下の文章の( )内に当てはまるものはどれですか。

明治4年(1871)になると、廃藩置県により現在の福島県内には( )の県が誕生し、ほどなく3県に統合され、明治9年(1876)

8月にほぼ現在の形の福島県が誕生した。

- ① 10      ② 13      ③ 17      ④ 19

【第43問】

白河の学校の<sup>へんせん</sup>変遷について、正しいものはどれですか。

- ① <sup>おもてごう</sup>表郷小学校は、昭和56年（1981）にすべての分室が<sup>とうごう</sup>統合された
- ② 白河地域で一番早く<sup>せつりつ</sup>設立されたのは、<sup>しんまちしょうがっこう</sup>新町小学校である
- ③ <sup>たいしんちいき</sup>大信地域では、明治7年（1874）に8つの小学校が設立された
- ④ <sup>げんざい</sup>現在の<sup>ひがしちいき</sup>東地域の小学校は、<sup>かまこしょうがっこう</sup>釜子小学校と<sup>こたがわしょうがっこう</sup>小田川小学校である

【第44問】

白河の近代産業について、間違っているものはどれですか。

- ① <sup>はくせいかんせいしこうじょう</sup>白清館製糸工場は、<sup>しらかわせいしがいしゃ</sup>白河製糸会社の<sup>あとち</sup>跡地を<sup>つ</sup>引き継いで<sup>おこ</sup>興された
- ② <sup>めいじき</sup>明治期に東北初の<sup>でんしんきょく</sup>電信局が白河で開業した
- ③ 明治42年（1909）に<sup>しらかわでんとうかぶしきかいしゃ</sup>白河電燈株式会社が<sup>そうりつ</sup>創立された
- ④ 白河で最初に<sup>してん</sup>支店を出した銀行は、<sup>だいいちぎんこう</sup>第一銀行である

【第45問】

白河の馬市<sup>うまいち</sup>について、下の文章の( A )および( B )内に当てはまるものはどれですか。

白河の馬市は春と秋に開催<sup>かいさい</sup>され、一般的<sup>いっぽんてき</sup>には( A )に開催される市が「白河馬市」として知られている。また、大正期<sup>たいしょうき</sup>から昭和初期<sup>しょうわしょき</sup>には、( B )を超える馬が白河から出荷されていったと伝えられている。

- ①A：春 B：1万頭<sup>とう</sup>                      ②A：春 B：3万頭  
③A：秋 B：1万頭                      ④A：秋 B：3万頭

【第46問】

奥州街道<sup>おうしゅうかいどう</sup>が明治6年(1873)に改称<sup>かいしょう</sup>された後の名称は何ですか。

- ①会津街道<sup>あいづかいどう</sup>                      ②石川街道<sup>いしかわかいどう</sup>                      ③陸羽街道<sup>りくうかいどう</sup>                      ④原方街道<sup>はらかたかいどう</sup>

【第47問】

白河の鉄道について、下の文章の( )内に当てはまるものはどれですか。

「磐城鉄道<sup>いわきてつどう</sup>」は、白河と( )を結ぶ鉄道として線路敷設工事が進められたが、関東大震災<sup>かんとうだいしんさい</sup>や不況<sup>ふきょう</sup>の影響<sup>えいぎょう</sup>を受け、開業<sup>むか</sup>を迎えることができなかった。

- ①棚倉<sup>たなぐら</sup>                      ②石川<sup>いしかわ</sup>                      ③いわき                      ④浅川<sup>あさかわ</sup>

【第48問】

近現代に活躍した白河ゆかりの人物について、間違っているものはどれですか。

- ① 山下りんは白河ハリストス正教会のイコンを制作した
- ② 関根正二は『福島県道路風景画帖』で白河の風景を写生した
- ③ 中山義秀は大信地域出身で、芥川賞を受賞した
- ④ 斎藤正夫は「馬の画家」として名をあげた

【第49問】

近現代に活躍した白河ゆかりの人物について、下の文章の( )内に当て

はまるものはどれですか。

円明寺出身の( )は、戦前から戦後にかけて、フランス人形作家として活躍した。布張りの素朴な味わいとモダンな造形感覚が融合した人形は、幅広い人気を集めた。

- ① 川崎プッペ
- ② 高橋由一
- ③ 大谷五花村
- ④ 福田利秋

【第50問】

白河の合併のあゆみについて、正しいものはどれですか。

- ①明治9年（1876）に市制施行により白河市が誕生した
- ②明治40年（1907）に旗宿・関辺が白河市から表郷村へ編入した
- ③明治40年（1907）に蕪内が五箇村から釜子村へ編入した
- ④昭和30年（1955）に大田輪・小貫が東村から白河市へ編入した

